



大阪大学歯学会
The Osaka University Dental Society

NEWS LETTER



The Osaka University
Dental Society

April, 2012 | No.6

大阪大学歯学部60周年事業 第9回市民フォーラム報告

平成23年10月15日、大阪大学歯学部60周年記念事業市民フォーラム、“再生歯科医療—「削る・詰める」から「取り戻す」へ—”が、歯学部附属病院の主催で、大阪梅田の毎日新聞社オーバルホールにて開催されました。大阪大学歯学会は、歯学部同窓会や毎日新聞社と共に、本フォーラムを後援し、小児歯科学教室・口腔病理学教室の先生方には、フォーラム進行にご協力いただきました。

今回は大阪大学歯学部創立60周年を記念し、「再生歯科医療」をトピックとして、大阪大学歯学部附属病院、歯学研究科の長年にわたる基礎・臨床研究の成果が拓きつつある近未来の新たな歯科医療について、市民の皆様を紹介しました。

会場が満席状態の中、天野敦雄教授（予防歯科学教室）の司会のもと、主催者である森崎市治郎病院長の開会の挨拶に始まり、西村理行准教授（生化学教室）、江草宏助教（歯科補綴学第一教室）、古郷幹彦教授（口腔外科学第一教室）、岩井聡一助教（口腔外科学第二教室）、村上伸也教授（口腔治療学教室）がご講演されました。講演終了後の総合討論では、会場の皆さんからの多数の質問を頂き、大いに盛り上がりました。最後に、脇坂聡歯学研究科長の閉会の挨拶で幕を閉じました。



CONTENTS

大阪大学歯学部60周年記念事業 第9回市民フォーラム報告	1
歯学会庶務理事 加藤 隆史	
第113回例会・第58回総会	2
歯学会庶務理事 山田 聡	
平成23年度弓倉学術奨励賞	2
大阪大学大学院歯学研究科 口腔治療学教室 竹立 匡秀	
大阪大学大学院歯学研究科 口腔外科学第一教室 石濱 孝二	
例会発表者報告	3
大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 裏口 真也	
大阪大学大学院歯学研究科 口腔病理学教室 大家 香織	
大阪大学歯学部3年次生 小野 真太郎	
歯学会からのお知らせ	4

大阪大学歯学会第113回例会および第58回総会 報告

今回の例会は、新年明けて間もない1月12日の午後、5つの一般演題と2つの特別講演が行われました。一般演題は、歯学部学生、大学院生、医員、助教など経験・年齢の違いはあるけれど、発表者の研究、臨床への熱い思いが伝わるすばらしい発表でした。続いて、平成23年度大阪大学弓倉学術奨励賞受賞者による歯学部ならではの基礎および臨床研究の特別講演が行われました。総会では、会務の報告があり、次年度に向けた協議事項の承認を受け、無事終了しました。



〈大阪大学大学院歯学研究科・弓倉学術奨励賞〉は歯科医学の学術領域において優れた業績があったと認められる研究者に授与される賞です。

平成23年度は、口腔治療学教室の竹立匡秀先生、口腔外科第一教室の石濱孝二先生が受賞され、先日開催された第113回例会で表彰式が行われました。

平成23年度弓倉学術奨励賞受賞者からの一言！

大阪大学大学院歯学研究科 口腔治療学教室 竹立 匡秀

このたび、私たちの研究論文『CD73-generated adenosine promotes osteoblast differentiation』が評価され、第14回大阪大学歯学部弓倉学術奨励賞を授かりました。このような名誉な賞を頂きましたことを大変光栄に思うとともに、これを励みとし今後の研究活動へ気持ちを新たにしています。

口腔治療学教室では、ヌクレオシドの一つであるアデノシンの生物学的活性・機能について長年研究を積み重ねてきました。そのなかで本論文では、アデノシン産生酵素であるCD73分子に着目し、同分子を介して産生されたアデノシンが骨芽細胞の分化を促進的に制御することで、骨組織の恒常性維持に関与していることを *in vivo*、*in vitro* の解析から明らかにしました。論文投稿に際しては、4名の査読者から心あるコメントを多数頂き、追加実験、改訂作業に半年を費やすこととなりました。

たが、強力にサポートしてくれる大学院生たちの尽力により、なんとかアクセプトまで辿りつくことができました。その甲斐あって、論文の完成度も高まり、本賞受賞に繋がったものと考えております。

最後に、本研究の遂行にあたりご助言頂きました村上教授、豊澤教授ならびに共同研究者の皆様にご心より御礼申し上げます。



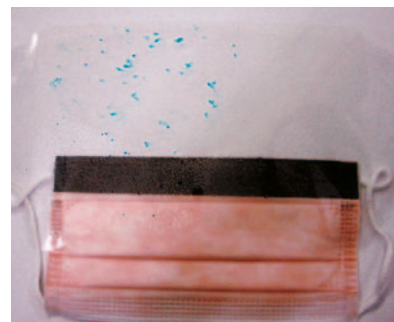
本研究内容の発表を行った際、口腔治療学教室のみなさんと（筆者：左から2番目）

大阪大学大学院歯学研究科 口腔外科学第一教室 石濱 孝二

今度、大阪大学弓倉学術奨励賞を頂き大変光栄に存じます。本論文は中央手術室で霧状になった患者血液が術野から4.6m離れた場所（現在最長記録）でも検出され、高速回転切削器具の使用または電気メス焼灼が要因であることを示したものです。口腔外科では下顎埋伏智歯抜歯が日常的に行われますが、術者は顔や眼に飛沫を浴びることがあり、術者の血液被曝率を調査することからスタートしました。最初の難関は血液検出試験。専門家である科学警察研究所に直接聞き教えて頂きました。術者が使用したフェイスシールドに初めて行う血液検出試験で陽性反応の青い斑点が浮かび上がってきた時は劇的な瞬間でした。数を増やすと予想に反し約90%と非常に高い確率で術者は被曝していました。手術室では離れすぎていて検出でき

ないだろうと予想していましたが、1例ずつでも血液を検出できました。すべて予想に反し意外な驚きがあり、次の研究の推進力となったと思います。この受賞も予想外、次の研究への意欲が湧いてきます。ご協力頂きました科学警察研究所の櫻田宏一先生、日本バイリーンの熊谷聡様、中央手術室の看護師の皆様、第一口腔外科教授古郷幹彦先生はじめ教室員の先生方に厚くお礼申し上げます。

血液検出試験を行ったフェイスシールド。
陽性では青い呈色反応を示すロイコマラカイトグリーン法（16000倍希釈血液でも検出可能）。もし、フェイスシールドもゴーグルも使用していなければ……。



大学院レポート

今号では、113回例会で研究発表された大学院生の皆さんを紹介します！

大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 裏口 真也

我々の研究グループは現在、江草宏助教をグループ長とし、医員3名、大学院生7名の全11名で研究活動しております(2012年4月1日現在)。

私の研究内容は、Id2遺伝子欠損マウス由来iPS細胞を用いた骨芽細胞分化機構の解析です。Id2はBMPシグナルを介して間葉系幹細胞の骨芽細胞分化を制御することが過去に報告されていますが、その詳細は明らかになっていません。そこで我々は、Id2遺伝子欠損マウスから作製したiPS細胞を用いることによって、より詳細な骨芽細胞分化機構の解析が可能になるのではと考え、現在実験に取り組んでいます。今後も歯学会などの場を活用して、研究活動に精進したいと考えております。



左から二人目が江草宏助教、左から三人目が演者(裏口)。他は大学院生。

大阪大学大学院歯学研究科 口腔病理学教室 大家 香織

現在、大学院一年目です。総合診療部に所属し、臨床も勉強中ですが、研究は口腔病理学教室にお世話になっています。この一年は、ほぼ組織切片と免疫染色との格闘でしたが、それだけでもよく考えなければならないポイントやコツが沢山ありました。コツを掴むまでは、通常の手順で進めているはずなのに染色結果がおかしかったり、汚かったりと、思うように結果が出ませんでした。あれこれ自分なりに工夫しているうちにきれいに仕上げるコツがわかってきましたが、やはり実験は時間がかかるものだなあと実感しています。それでも、新しいことが分かることは面白いので、これから先他の実験系もいくつか挑戦してみたいと思っています。



Leicaの営業の方に、神奈川歯科大学学生化学教室の先生方と一緒に川本法(非脱灰凍結切片作製法)を教えていただいた時の写真です。

学部学生レポート

第113回大阪大学歯学会例会では、歯学部3回生のグループが、基礎配属実習で行ったすばらしい研究成果を発表されました。今回はグループを代表して、口頭発表を行った小野真太郎さんからひと言いただきました。

歯質のマイクロ構造異方性を考慮した3次元有限要素解析

大阪大学歯学部三年次生 小野 真太郎、堅田 千裕、川西 雄三、羽黒 歩美

研究指導者：歯科理工学教室 山口 哲、寺岡 文雄、今里 聡

まず、この度、まだ3回生の私たちにこのような成果発表の機会をいただきありがとうございました。この期間中に得られた知識や経験は他の何にも代えがたいものがあり、大変有意義な時間を過ごせました。直接の指導者であった山口先生が、当初は何もわからなかった私たちに根気強く優しくご指導くださったおかげで、効率よく短期間で成果を上げることができました。また研究だけでなく、他学部への研究室見学を企画いただいたことも大変刺激になりました。最後になりますが、見

守ってくださった歯科理工学教室の皆様方、また一緒にがんばったメンバーにこの場を借りて感謝致します。



お世話になった歯科理工学教室の第一研究室にて(左から堅田、川西、山口先生、羽黒、筆者)

ニュースレターでは会員の皆さんの研究活動を紹介します!!

今後の大阪大学歯学会ニュースレターでは、若手の先生方、大学院生、学部学生の皆さんの研究活動をどんどん紹介していきます。皆さんの研究分野のトピックや自らの研究の成果だけでなく、国内外に関わらず各学会での研究発表の様子や学会賞の受賞、研究生活でのこぼれ話など、研究にまつわる話題であれば何でもOKです。我こそは!と思われる先生方をお待ちしております。また、自薦他薦は問いませんので、歯学会会員の先生方からのご紹介、推薦もお待ちしております。ご連絡は、歯学会事務局（内線：2044（月・木のみ）；Eメール：ouds@dent.osaka-u.ac.jp）または歯学会庶務理事（山田聡 [口腔治療学教室：内線2931]、加藤隆史 [口腔解剖第二教室：内線2879]）まで。

歯学会年会費自動引落について

歯学会では、平成24年度より年会費の支払いはゆうちょ銀行口座からの自動引き落としが可能になりました。口座振替にさせていただきますと、お振込み時に金融機関へ出向く手間が省けますし、払い忘れもありません。一枚の申込み用紙への簡単にご記入だけで手続きは完了します。ぜひこの機会にご活用下さい。

システムの概要

1) 取扱金融機関：全国のゆうちょ銀行

※他の都市銀行、地方銀行、信託銀行などの金融機関はご指定できません。

2) 振替日：毎年4月25日（土曜・日曜・休日の場合は翌営業日）

引落し後、貯金通帳摘要欄には「大阪大学歯学会」と印字されます。

3) 引き落とし手数料：当学会にて負担いたします。

詳細は公式ホームページ <http://ouds.dent.osaka-u.ac.jp> へ

大阪大学歯学会公式ホームページをリニューアル致しました

公式ホームページには、毎年開催される例会、歯学会主催の優秀研究奨励賞・優秀海外大学院生奨励賞の公募、歯学雑誌への投稿規定やチェックリストなどの情報がすぐわかるようになっております。

学外の先生方にも、充実した情報をお届け出来るように致しておりますので、是非ご閲覧下さい。

ホームページアドレス <http://ouds.dent.osaka-u.ac.jp>

お知らせ

3月より歯学会事務局の開室時間が
月・木（9：00～16：00）に変わりました。

